

藩翰譜

四

四下

高木 三宅 牧野 田一西 戸田松平康長 戸田尊次
 信成 西御 松井松平 牧野康成 武成

七	六	〇	七	和書門
一	六	一	七	類
五	一	六	一	架函號類

庫	文	閣	内	
五	一	七	〇	和
五	一	五	七	書
六	一	五	七	架函號類

内閣文庫	
番號	和 7607
冊數	15 (4)
函號	155 38



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

三浦新譜

松平 二連

伊波 三連

久保 三連

大正

三浦

三浦新譜
松平 二連
伊波 三連
久保 三連
大正
三浦

教部省
文庫印

譜翰譜に下

松平 二連本下田

大崎文庫

大崎文庫印

大崎文庫

大崎文庫

丹波夏系麻呂の國の領人白澤正成ら尉宗光の

又二連本の成と稱す

此の記に宗光と云ふは... 白澤正成は... 丹波夏系麻呂の國の領人... 尉宗光の... 二連本の成と稱す... 丹波夏系麻呂の國の領人白澤正成ら尉宗光の... 又二連本の成と稱す... 此の記に宗光と云ふは... 白澤正成は... 丹波夏系麻呂の國の領人... 尉宗光の... 二連本の成と稱す...

北へつたてとてし海軍ならんをいりて長原の戦は舟名野
と波おとさるる東の要害と成りしとてふ六年一とくけし後
舟の西へ入ると悔きしと物申の城とていふ或田原とてい
竹甲斐のありしじりいりし河内江尾の城とていふ
山降り場とていふ山田東の城とていふ河内府とていふ
ふとて一掃東とていふ河内府とていふ河内府とていふ
二年一掃東とていふ河内府とていふ河内府とていふ
西の北へつたてとてし海軍ならんをいりて長原の戦は舟名野
と波おとさるる東の要害と成りしとてふ六年一とくけし後
舟の西へ入ると悔きしと物申の城とていふ或田原とてい
竹甲斐のありしじりいりし河内江尾の城とていふ
山降り場とていふ山田東の城とていふ河内府とていふ
ふとて一掃東とていふ河内府とていふ河内府とていふ
二年一掃東とていふ河内府とていふ河内府とていふ

の六年一掃東の戦は舟名野と波おとさるる東の要害と成りしとてふ六年一とくけし後
舟の西へ入ると悔きしと物申の城とていふ或田原とてい
竹甲斐のありしじりいりし河内江尾の城とていふ
山降り場とていふ山田東の城とていふ河内府とていふ
ふとて一掃東とていふ河内府とていふ河内府とていふ
二年一掃東とていふ河内府とていふ河内府とていふ

あまの軍えありしとていふ河内府とていふ河内府とていふ
河内府とていふ河内府とていふ河内府とていふ
河内府とていふ河内府とていふ河内府とていふ
河内府とていふ河内府とていふ河内府とていふ
河内府とていふ河内府とていふ河内府とていふ

川原の帯し又砂人といふ所秀出でてえとく織田屋といふ
少領しをうく味くいのふにとかるる信秀りしものもは
けと申知し一多入をいふつてなをいふじふ信秀よりえよ遊じ
砂と細しきところを畝のふ教し一なる名して辰美とていふ
年の秋ら後のつた河内といふところへ移るる信秀これと改む
ふしけんとし信元といふれあひ山川川原の路は信秀よりたふ耐
信秀よりいふ所を築白といふと申下を名とすし一は
あるとて下とすし一信秀を信秀り信秀と改むて辰美とす
砂り信秀の城と改むし一なる名し一なる名と改むて辰美とす
し一今よりいふ所を信秀二つ内宿つる所といふけしは信秀
又信元の今よりいふ所を辰美といふとす辰美の冬

徳川殿甲申又の新屋といふ所とめられ信秀より信秀か
し一りし^{いふ所を信秀}なる所九つといふ所と一し信秀とめられ信
秀より一信秀といふ所とめられ信秀より一なる名と改むて辰美とす
物の信秀といふ所よりなる信秀の教し一信秀よりえとす
て此の徳川殿の信秀といふ所より一なる名と改むて辰美とす
とすし一なる名と改むて辰美とすし一なる名と改むて辰美とす
築白といふ所と改むて辰美とすし一なる名と改むて辰美とす
此の又信秀といふ所より一なる名と改むて辰美とすし一なる名と改む
かのり信秀といふ所より徳川殿の信秀といふ所より一なる名と改む
とすし一なる名と改むて辰美とすし一なる名と改むて辰美とす
明徳二年二月の辰徳川殿といふ所より一なる名と改むて辰美とす

書名とあり上平下ナラ古書ゆいんく上平下ナ
字の多し一平と其子とゆいんく上平下ナ八月書
の次とあり明暦二年十一月下平下ナを平下ナその子水
の次とあり其子と長久保とあり



